Cisco Business Process Automation の特権昇格の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-bpa-priv-esc-dgubwbH4
初公開日 : 2021-07-07 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : 8.8
回避策 : No workarounds available
Cisco バグ ID : CSCvx72516 CSCvx72508 CSCvx72502

CVE-2021-1574
CVE-2021-1576

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Business Process Automation（BPA）の Web ベースの管理インターフェイスに複数の脆弱性があるため、認証されたリモートの攻撃者が管理者に権限を昇格させる可能性があります。

これらの脆弱性は、特定の機能や、機密情報を含むログファイルへのアクセスに対する許可の不適切な適用に起因します。攻撃者は、巧妙に細工された HTTP メッセージを該当システムに送信して、許可されていないアクションを管理者の権限で実行するか、ログから機密データを取得し、そのデータを使用して正規の特権ユーザになりすますことで、これらの脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は管理者に特権昇格できるようになります。

シスコはこれらの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリは、次のリンクより確認できます。
https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-bpa-priv-esc-dgubwbH4

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性の影響を受けるのは、Cisco BPA のリリースが 3.1 より前の場合です。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、これらの脆弱性の影響を受けることが分かっています。

詳細

このアドバイザリでは、攻撃者が管理者に特権昇格することを可能にする Cisco BPA の 2 つの脆弱性について説明します。

CVE-2021-1574 では、有効なユーザログイン情報を持つ攻撃者が不正なコマンドを実行する可能性があります。

CVE-2021-1576 では、有効なログイン情報を持つ攻撃者が該当システムのロギングサブシステムにアクセスし、機密データを取得する可能性があります。このシステムは、正規のユーザがシステム上でアクティブなセッションを維持している間のみ脆弱になります。

両方の脆弱性の CVSS スコアは 8.8 です。

回避策

これらの脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。
https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限ります。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティ ソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレード ソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center（TAC）もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC（https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html）に連絡してアップグレードを入手してください。

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

修正済みリリース

シスコは、Cisco DCNM リリース 3.1 以降でこれらの脆弱性を修正しました。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team（PSIRT）では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例とその公表は確認しておりません。

出典

この脆弱性は、シスコ内部でのシステム セキュリティ テストによって発見されました。

URL

https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-bpa-priv-esc-dgubwbH4

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2021 年 7 月 7 日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。 本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。 また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したり

する権利を有します。
本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意訳を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。 このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。